

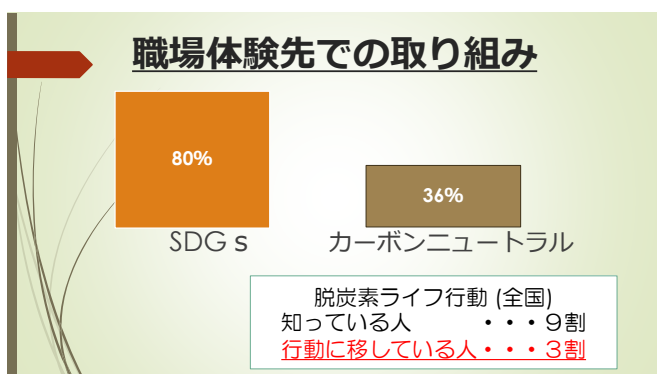
## 「やまがたカーボンニュートラル大使」活動報告書

令和6年3月22日

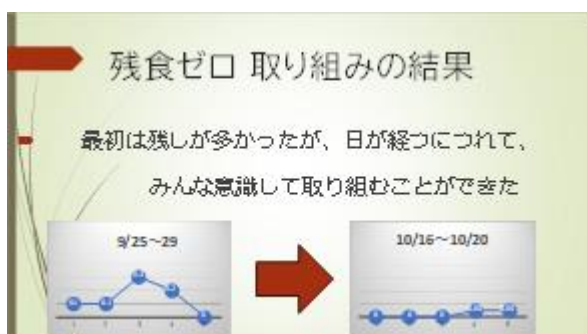
やまがたカーボンニュートラル大使としての令和5年度の活動について、以下のとおり報告します。

学校名	鮭川村立鮭川中学校	
大使グループ名	鮭川中学校第2学年	
活動内容		
1	活動名	職場体験学習での取材活動
	実施期間	8月30日～9月1日
	内容	職場体験学習時に、鮭川村内各企業や職場におけるSDGsやカーボンニュートラルの取り組みの実施状況について、取材活動を行った。その結果を集約し、鮭川村の取り組みの概況を捉え、文化祭時の発表資料とした。
2	活動名	鮭川中学校2学年におけるカーボンニュートラルの取り組み実践
	実施期間	9月～
	内容	学年として取り組む目標を話し合い、「給食残飯ゼロ」と「節電・節水」の実践を行った。毎日の残飯量を計測し、グラフ化して比較した。他学年にもポスターを作成し、「節電・節水」の協力を呼び掛けた。さらに、家庭で行う個人目標を設定し、月ごとに振り返りを行った。併せて、家族への協力へと働きかけ、活動を広めていった。
3	活動名	文化祭時の活動報告と地域へのPR活動
	実施期間	10月
	内容	カーボンニュートラル大使として活動した内容を文化祭時に、全校生徒、保護者、村議会議員の皆さんの参列の中で、パワーポイントを活用して発表した。①「カーボンニュートラルの必要性」②「職場体験学習時の企業への取材内容のまとめ」③「本校2学年の取り組み」④「まとめと全体へのアピール」を骨子に発表・PR活動を行った。

活動1



活動2



## 活動3



## まとめ

## 【学んだこと】

- ・一人一人の取り組みで、地球をいい方向に変えられる。
- ・環境保全、災害防止に向けて、皆でコツコツ取り組み続けることが大切。
- ・周囲に声がけしていくことで、意識化が高まる。

- ・「ニッセイ駐川の森」にて、育樹活動が進められている。

- ・自分たちでできることを意識的に行い、輪を広げていくことの大切さ。

- ・自然や森林を大切にしつつ、環境保全に努めて行くことの大切さ。